SOUNDSTREAM

SSP1

DECORDER for
DOLBY DIGITAL & DTS
(DIGITAL THEATER SYSTEM)

取扱説明書

GD506　デコーダー

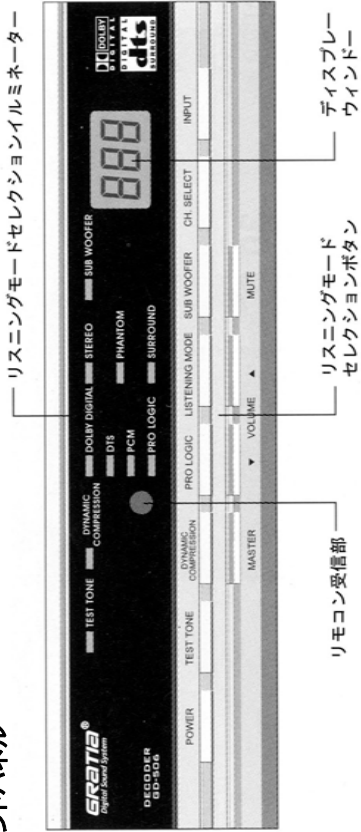
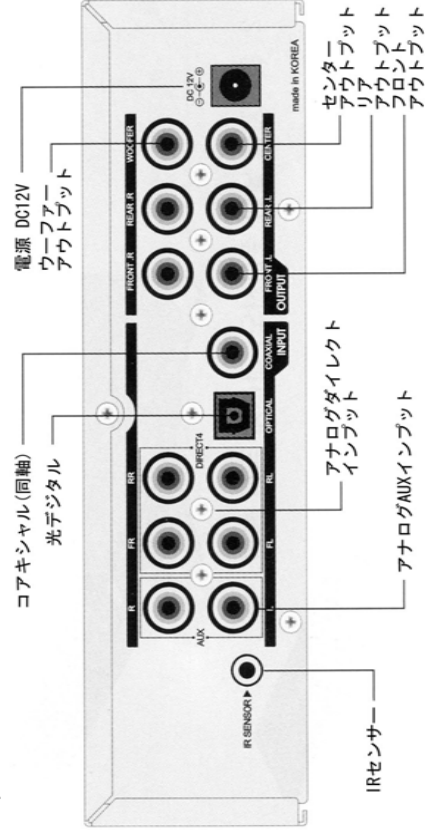
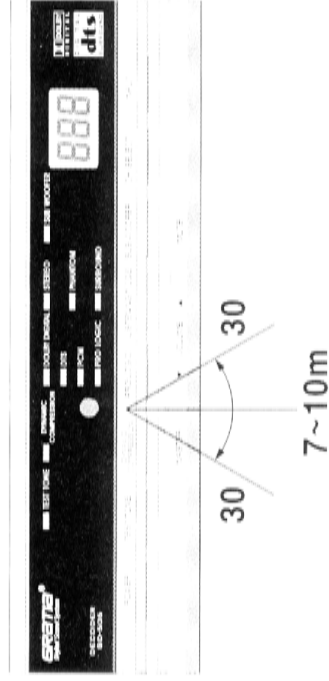
この度は GD506 デコーダーをお買い求めいただきありがとうございます。
この製品はドルビーデジタルと DTS による 5.1 チャンネルのシネマサウンドを再現するデコーダーです。
また、様々な効果をもたらす各種機能を内蔵し、車への取付に配慮した設計となっています。

- 5.1ch DVD サウンドを完璧に再現します。
- 市販の DVD プレーヤに接続できます。
- お使いのデッキと互換性があり、音質は変わりません。
- 2 チャンネルの入力で 5.1 チャンネルのサラウンド出力ができます。
- 光デジタル、コアキシャル（同軸）入力に対応。

ドルビーデジタル　＆　DTS

Dolby と [DD] は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。
DTS と [dts] は Digital Theater System, Inc の登録商標です。

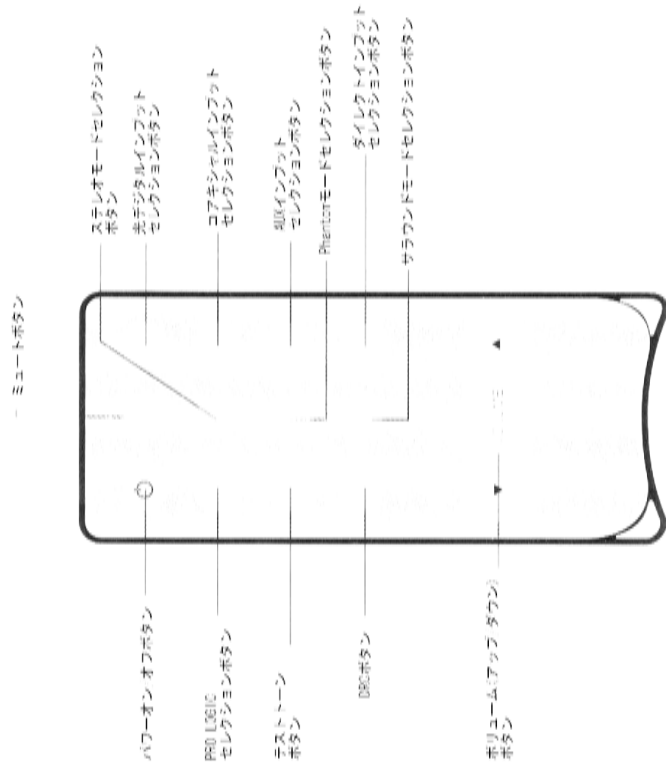
機能

フロントパネル

リアパネル

リモコン

リモコンは、GD506 の正面にあるリモコン受光部から、左右30°、7～10m以内の範囲で使用できます。
リモコンを使用する際には、以下の手順で電池を入れてください。

1. リモコンの後ろ側の電池室カバーを
   引き出します。

2. 正しい電池をカバーに装填します。
（電池のプラスマイナスを間違えないでください）

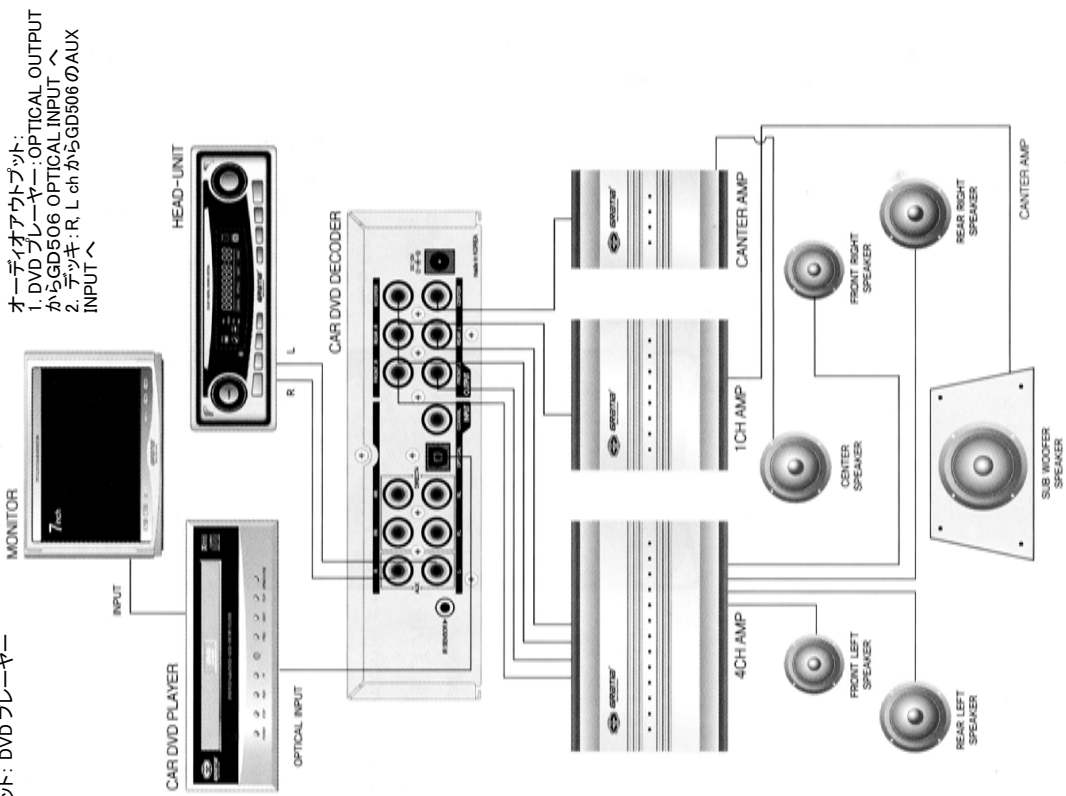
3. 電池室カバーをリモコンに取り付けます。

リモコン

システム構成図

例 1.

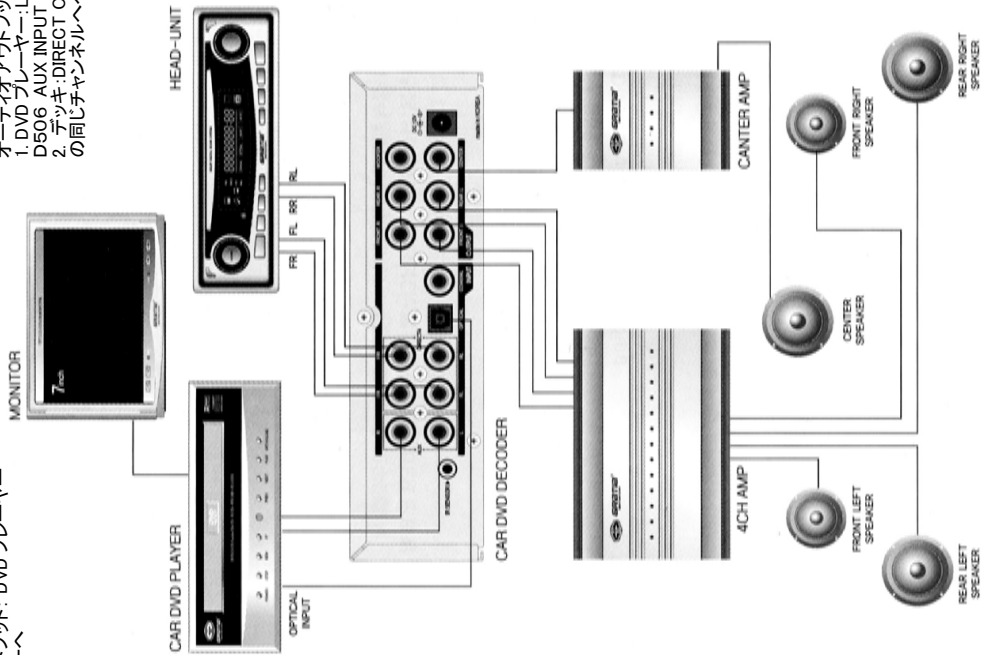
ビデオアウトプット: DVD プレーヤー
からモニターへ

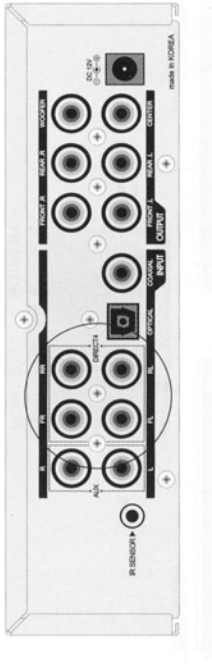
オーディオアウトプット:
1. DVD プレーヤー:OPTICAL OUTPUT
からGD506 OPTICAL INPUT へ
2. デッキ:R, L ch からGD506 のAUX
INPUT へ

MONITOR
INPUT
CAR DVD PLAYER
HEAD-UNIT
OPTICAL INPUT
R
L
CAR DVD DECODER
4CH AMP
1CH AMP
CANTER AMP
FRONT LEFT SPEAKER
CENTER SPEAKER
FRONT RIGHT SPEAKER
REAR LEFT SPEAKER
REAR RIGHT SPEAKER
SUB WOOFER SPEAKER
CANTER AMP

システム構成図

例 2.

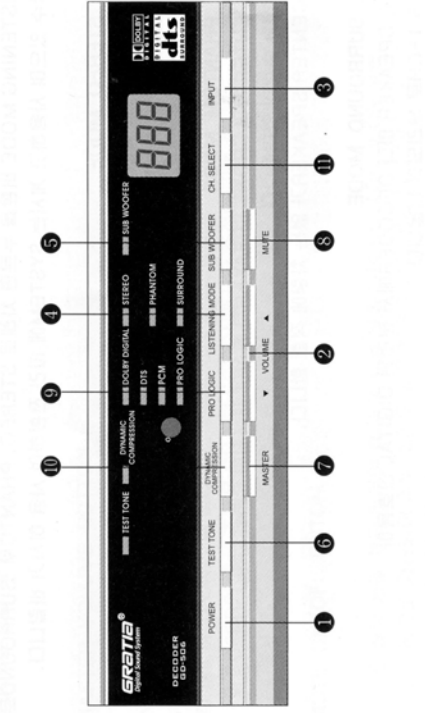
ビデオアウトプット: DVD プレーヤー
からモニターへ

オーディオアウトプット:
1. DVD プレーヤー:L, R OUTPUT からG
D506 AUX INPUT へ
2. デッキ:DIRECT OUTPUT からGD506
の同じチャンネルへへ

注意:接続方法はOptical, Coaxial, Aux, Direct のうちど
れか1つの方式しか使用できません

ダイレクトインプット

デッキやDVDプレーヤーがフロント、リアアウトプットを備えている場合には、GD506のダイレクトインプットに接続することにより、オーディオシグナルをアンプへそのままスルーさせます。

スペック

- モトローラ　DSP回路搭載(DSA 56367)
- クラスAドルビーデジタル5.1chデコーディング
- DTS 5.1ch デコーディング
- MPEG2　マルチチャンネルデコーディング
- プロロジック プロセッシング
- 2デジタルインプット(光デジタル/コアキシャル)
- ステレオ AUX インプット
- 4チャンネルダイレクトパスインプット
- 6チャンネルアナログアウトプット
- 96KHｚ　LPCM
- テストトーン
- センタースピーカー オン/オフ
- サブウーファー オン/オフ
- 6チャンネルトリムコントロール：±10dB (1dB ステップ)
- アナログマスターボリュームコントロール
- リモートコントロール
- IRセンサー/カードタイプリモコン

機能

1. 電源ボタン
2. ボリュームボタン
3. オーディオインプット選択ボタン

ソースユニット(デッキなど)からのインプット方法によって、切り替えて使用します。

ボタンを押すごとに

OPT(光デジタル)－COA(コアキシャル/同軸)－AIN(AUX)－(DIRECT4)

の順で切り替わります。

4. モードの選択

ご使用になるオーディオシステムにより、リスニングモードを選択します。

ステレオ、ファントム、サラウンドモードが選択できます。

1. ステレオモード
   フロントスピーカーとリアスピーカーを使用します。
2. ファントムモード
   センタースピーカーを接続しない場合に、フロントスピーカーからセンタースピーカーサウンドを再生します。
3. サラウンドモード
   すべてのスピーカーを使用した、5.1chサウンドを再生します。

5. サブウーファー オン/オフ

サブウーファーサウンドの使用状態により設定します。

ステレオモード時は、サブウーファーサウンドは再生されません。
サラウンドモードが選択されている場合には、サブウーファーサウンドが再生されます。

サブウーファーを接続している場合は、"ON"にセットするとサブウーファーが使用できます。サブウーファーを接続していない場合には"OFF"にセットしてください。

6.　テストトーンボタン

スピーカーの音量レベルを設定する場合に使用します。ボタンを押すと、フロントの左スピーカーから順にトーン音を再生します。
図 11 の CH 選択ボタンを押すと以下の順で切り替わります。
フロント(左)→センター→フロント(右)→リア(右)→リア(左)→フロント(左)
音量レベルは2番のアップ/ダウンボタンで-10dB～+10dB の範囲で設定できます。

7.　マスターボリュームボタン

メインボリュームのアウトプットの設定に便利な機能です。Master ボタンを押し、2番のボリューム　アップ/ダウンボタンで設定します。
サブウーファーのアウトプットレベルの調節には、CH セレクトモードの使用により可能になります。

8.　ミュート(消音) オン/オフ ボタン

一時的に音を消すための機能です。1 度押すと音量がゼロになります。もう 1 度押すと元の音量に戻ります。
ミュートボタンを 1 度押して、消音されている場合でも、ボリュームボタンを押すと消音が解除されます。

9.　プロロジックボタン

通常の CD を再生する際に、ボタンを押すと、PCM 機能が働きよりダイナミックなサウンドが再生できます。

10.　ダイナミック(レンジ)コンプレッションボタン

このモードが"ON"の場合、劇場用に収録された爆発音などの非常に大きな音が家庭用に抑えて再生されます。
ドルビーデジタル 5.1ch で使用する場合、サラウンドモードの場合にのみこの DRC 機能が使用できます。

輸入元：SOUNDSTREAM TECHNOLOGIES